



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社大冷 上場取引所 東
 コード番号 2883 URL https://www.dai-rei.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 修
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 黒川 岳夫 (TEL) 03(3536)1551
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	13,452	△2.7	472	△28.5	480	△27.7	320	△28.6
2018年3月期第2四半期	13,831	0.1	660	8.0	664	7.8	448	7.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期第2四半期	53.28		—					
2018年3月期第2四半期	74.59		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	12,227	7,211	59.0
2018年3月期	11,294	7,221	63.9

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 7,211百万円 2018年3月期 7,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	55.00	55.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	△0.2	1,100	29.9	1,105	28.7	770	32.8	128.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	6,008,300株	2018年3月期	6,008,300株
2019年3月期2Q	27株	2018年3月期	27株
2019年3月期2Q	6,008,273株	2018年3月期2Q	6,008,273株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付表示方法の変更)

「2019年3月期 第2四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境が改善していく傾向が継続しているなか、個人消費も持ち直しの動きを見せるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、各地での記録的な豪雨や台風、地震などによる被害及び米国の保護主義的な通商政策による海外情勢の変動への懸念などから先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界におきましては、消費者の節約志向、低価格志向が恒常化し、かつ人手不足により人件費、物流費のコスト上昇リスクが顕在化するなど厳しい環境となっております。

このような状況のもと当社は、ユーザーへの直接販売に積極的に取り組むなど収益力の向上に努めてまいりました。以上の結果、骨なし魚事業におきましては、外郭団体PB商品などの拡販に努めましたが、主力商品の原材料高騰による販売鈍化などにより売上高5,816,029千円（前年同期比4.4%減）、ミート事業におきましては、「楽らく匠味シリーズ」の拡販に努めましたが、匠味シリーズ以外のミート商品の販売鈍化により売上高1,399,163千円（前年同期比4.6%減）、その他事業におきましては、大手ユーザーとの取組み継続により売上高6,237,449千円（前年同期比0.7%減）となりました。これにより当期の売上高は13,452,642千円（前年同期比2.7%減）となりました。

損益面につきましては、原材料高騰による粗利率低下などにより、営業利益は472,559千円（前年同期比28.5%減）、経常利益は480,403千円（前年同期比27.7%減）、四半期純利益は320,149千円（前年同期比28.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期会計期間末における総資産は、12,227,816千円となり、前事業年度末と比較して933,631千円増加となりました。これは主に現金及び預金が426,679千円、商品が369,465千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、5,016,481千円となり、前事業年度末と比較して943,422千円増加となりました。これは主に買掛金が858,963千円、未払法人税等が90,859千円増加したことによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、7,211,335千円となり、前事業年度末と比較して9,791千円減少となりました。これは主に四半期純利益を320,149千円計上した一方で、配当金の支払を330,455千円行ったことにより利益剰余金が10,305千円減少したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べて426,679千円増加して3,406,501千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、611,483千円の収入（前年同期は1,184,997千円の収入）で、主な収入要因は税引前四半期純利益480,403千円、仕入債務の増加額858,963千円であります。一方、主な支出要因は売上債権の増加額311,167千円、たな卸資産の増加額369,177千円及び法人税等の支払額76,714千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、152,343千円の収入（前年同期は31,766千円の支出）で、収入の主なものは貸付金の回収による収入282,000千円であります。一方、支出の主なものは貸付けによる支出120,000千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、338,248千円の支出（前年同期は338,248千円の支出）で、支出の主なものは配当金の支払額330,455千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の将来予想につきましては、2018年5月10日に公表いたしました業績予想から変更ございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,979,821	3,406,501
受取手形及び売掛金	5,019,964	5,331,132
商品	1,972,903	2,342,368
その他	314,782	169,921
流動資産合計	10,287,472	11,249,923
固定資産		
有形固定資産	673,566	662,313
無形固定資産	102,186	84,658
投資その他の資産		
その他	238,270	238,232
貸倒引当金	△7,310	△7,310
投資その他の資産合計	230,960	230,922
固定資産合計	1,006,713	977,893
資産合計	11,294,185	12,227,816
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,072,450	3,931,414
未払法人税等	93,152	184,012
賞与引当金	32,499	32,467
その他	529,867	533,709
流動負債合計	3,727,970	4,681,603
固定負債		
退職給付引当金	221,253	222,524
その他	123,834	112,353
固定負債合計	345,087	334,878
負債合計	4,073,058	5,016,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,909,825	1,909,825
資本剰余金	686,951	686,951
利益剰余金	4,619,369	4,609,063
自己株式	△47	△47
株主資本合計	7,216,098	7,205,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,028	5,542
評価・換算差額等合計	5,028	5,542
純資産合計	7,221,127	7,211,335
負債純資産合計	11,294,185	12,227,816

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	13,831,951	13,452,642
売上原価	11,514,659	11,372,242
売上総利益	2,317,292	2,080,400
販売費及び一般管理費	1,656,551	1,607,840
営業利益	660,740	472,559
営業外収益		
受取賃貸料	4,488	4,488
その他	1,294	5,407
営業外収益合計	5,782	9,895
営業外費用		
賃貸収入原価	1,474	1,480
その他	783	569
営業外費用合計	2,257	2,050
経常利益	664,265	480,403
特別損失		
固定資産除却損	1	-
特別損失合計	1	-
税引前四半期純利益	664,264	480,403
法人税等	216,134	160,254
四半期純利益	448,129	320,149

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	664,264	480,403
減価償却費	31,312	30,021
貸倒引当金の増減額(△は減少)	113	-
受取利息及び受取配当金	△860	△1,447
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,136	△32
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,837	1,271
売上債権の増減額(△は増加)	△1,158,312	△311,167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△315,578	△369,177
仕入債務の増減額(△は減少)	2,146,721	858,963
その他	△5,972	△2,084
小計	1,396,662	686,750
利息及び配当金の受取額	860	1,447
法人税等の支払額	△212,525	△76,714
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,184,997	611,483
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,083	△8,424
無形固定資産の取得による支出	-	△1,660
投資有価証券の取得による支出	△432	△440
貸付けによる支出	△150,000	△120,000
貸付金の回収による収入	120,000	282,000
その他	750	868
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,766	152,343
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,793	△7,793
配当金の支払額	△330,455	△330,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338,248	△338,248
現金及び現金同等物に係る換算差額	168	1,102
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	815,150	426,679
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,995	2,979,821
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,172,146	3,406,501

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。